

氏名	齋藤 恵子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	修士(保健医療学)				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士前期課程修了、06年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士後期課程単位取得満期退学				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、05年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本国際保健医療学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本性感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本国際看護学会(評議員)				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	第107回看護師国家試験解答と解説(母性看護学)	共著	2019年版系統別看護師国家試験問題集(必修問題・過去問題・国試で用いたBOOK)。医学書院:東京: ;2018. ISBN978-4-260-03568-2	系統看護学講座編集室(編集)、石井邦子、川村紀子、杉本亜矢子、大月恵理子、齋藤恵子、山本英子、齋藤明香	2018.4.15
2	機能障害からみる看護過程3 第Ⅲ章性・生殖機能障害	共著	中央法規.東京、機能障害から見る看護過程p316-339,p372-377,2019.ISBN978-4-8058-5734-2	今川詢子、長谷川真美監修、宮岡久子、井出志賀子、笹伊久美子、齋藤恵子	2019.1.20
(2) 論文					
1	ラオス人民民主共和国における家族が行う看護ケアと看護師の役割	共著	Journal of Japanese Society for International Nursing 1(1) 13-24	齋藤 恵子, 李 孟蓉, 辻村 弘美, 森 淑江	2018.7
(3) 学会発表					
1	ラオスの産後における伝統的プラクティスに対する日本の産科医療施設の対応	共著	第20回日本母性看護学会、越谷市	○齋藤恵子、鈴木幸子	2018.6.24
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	リプロダクティブヘルスと看護	2018.10~2019.1	グループ演習・発表討議を通してリプロダクティブヘルスに関する課題について理解し、看護の視点で考察が深められるよう取り組んだ。		
2	グローバルヘルス	2018.10~2019.1	開発途上国の現状について統計データ、動画や画像を用い、グローバルヘルスに関する理解が深められるよう工夫した。		
3	母性看護学Ⅱ(女性と家族)	2018.12	思春期の女性と家族の性と生殖に関連する課題について検討するため、webclassを活用し、学生の授業参加を取り入れた。		
4	母性看護学Ⅲ	2018.12~2019.2	産褥・新生児期の看護過程展開のための紙面事例を作成し、グループ演習および個別指導を行った。		
5	周産期のケア	2019.1~2	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法について理解できるよう具体例を示しながら説明した。演習では妊婦健診、個別保健相談をロールプレーを用いて行った。		
6	分娩期のケア	2018.4~7	3年次助産系履修学生を対象に、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて講義を行った。分娩介助演習では原理原則に基づく、基本的な分娩介助技術を習得できるよう取り組んだ。		

(2) 演習				
1	周産期のケア	2019.1~2	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法についてが理解できるよう具体例を示しながら説明した。演習では妊婦健診、個別保健相談をロールプレーを用いて行った。	
2	分娩期のケア	2018.4~7	3年次助産系履修学生を対象に、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて講義を行った。分娩介助演習では原理原則に基づく、基本的な分娩介助技術を習得できるよう取り組んだ。	
(3) 実習				
1	IPW実習	2018.10	4年次生5名の学生を担当し、チーム形成から報告会までの活動を教員ファシリテーターとして支援した。	
2	母性看護学実習	2018.5~7	科目責任および実習2カンファレンス、実習1施設を担当し、3年次生を対象に受け持ち事例を通して褥婦および新生児とその家族を理解し、ケア計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。	
3	総合実習	2018.7	4年次4名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるように事前指導を行い、自己の課題を明確化できるよう支援を行った。	
4	助産学実習Ⅱ	2018.8~10	4年次2名の学生を担当し、1施設を担当し、分娩介助実習指導を行った。	
(4) 論文指導				
1	卒業研究	2018.2~2019.1	4年次5名の学生を担当し、研究の一連の過程を実践的に理解できるよう支援した。	
(5) その他				
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立松伏高校	性教育講演 一緒に考えよう性感染症/私たちの性	2018.7.9
2	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立桶川高校	性教育講演 一緒に考えよう性感染症/私たちの性	2018.12.13
3	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立鴻巣高等学校	性教育講演 一緒に考えよう性感染症/私たちの性	2019.3.6
4	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立白岡高校	性教育講演 一緒に考えよう性感染症/私たちの性	2019.3.14
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県看護協会	助産師職能委員	2014.6~2020.6	
2	埼玉県看護協会	予備代議員	2015.6~2019.6	
3	埼玉県立桶川高等学校	評議員	2014.4~現在	
4	越谷市男女共同参画支援センターほつと越谷	リプロダクティブヘルス・ライツ講座企画メンバー	2015.8~現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	情報図書委員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			